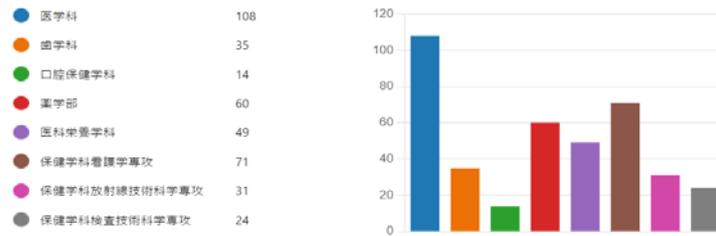
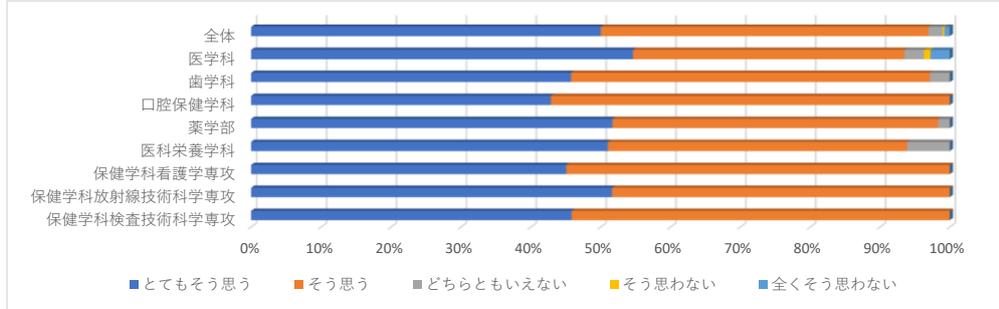


2022年 第10回学部連携PBLチュートリアル【学生】 実施後アンケート（参加学生数416 回答数392 回答率94%）

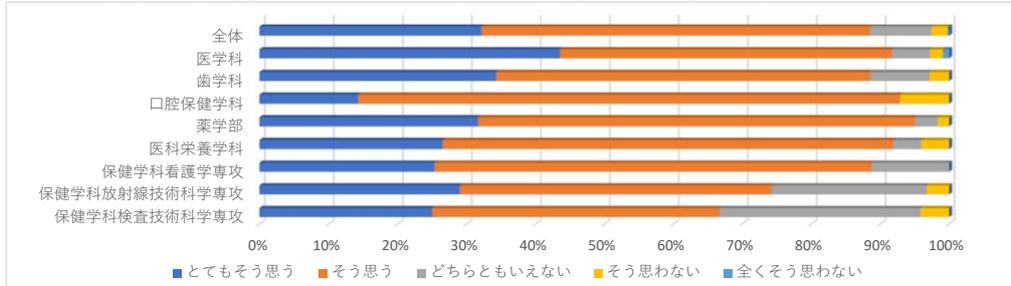
1.あなたの所属を教えてください



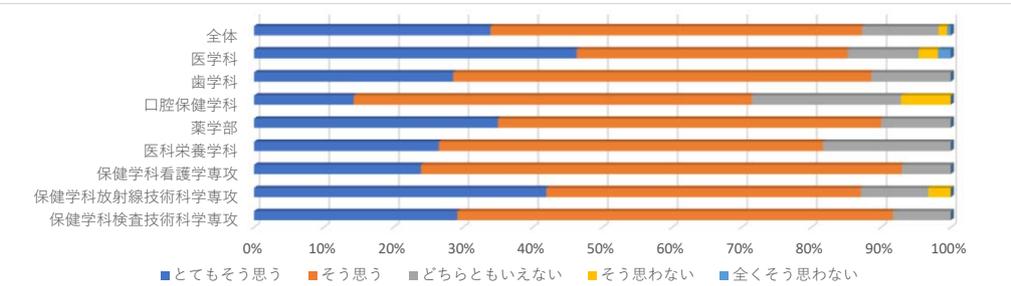
2.医療チームを構成する他職種への役割と仕事の内容について理解する事ができた。【他職種の理解】



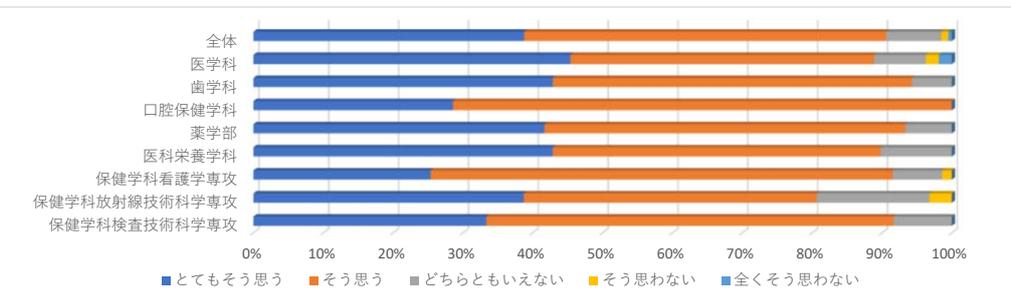
3.自分の学部・学科・専攻の専門性を活かしてグループワークに貢献できた。【職種としての役割を全うする】



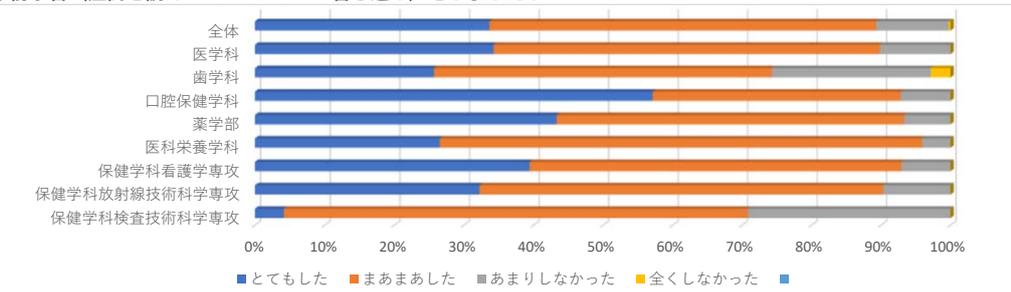
4.グループメンバーと協働して作業でき、意見の対立に適切に対応できた。【関係性に働きかける】



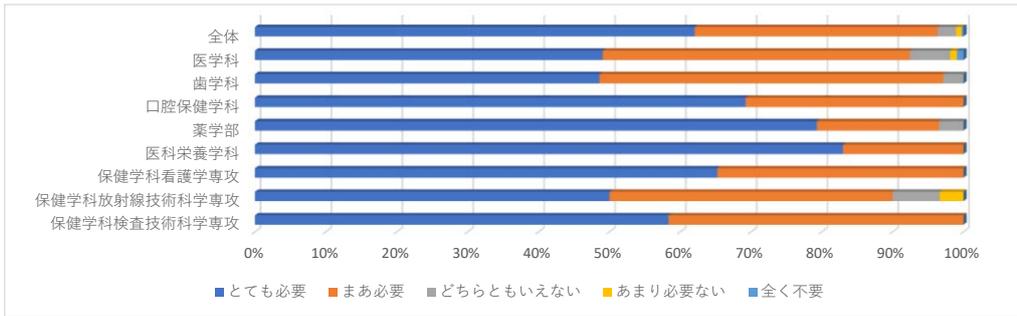
5.自分が目指す医療職種の仕事の内容、役割について新しい気づきがあった。【自職種を省みる】



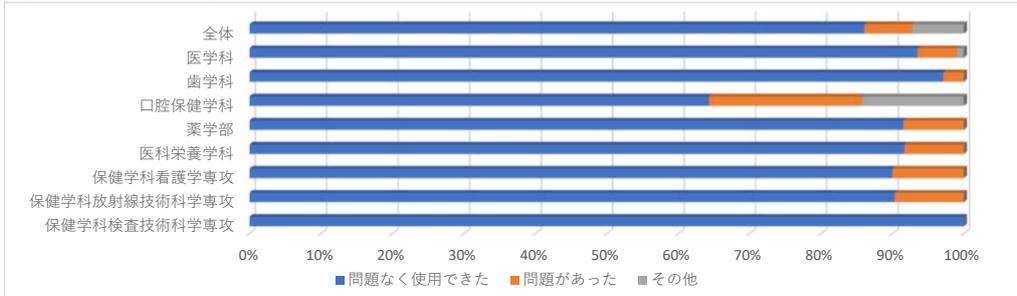
11.事前学習（症例を読んでPowerPointへ書き込み）をしましたか



12.事前学習は、当日のワークを進めるうえで必要だと思いますか



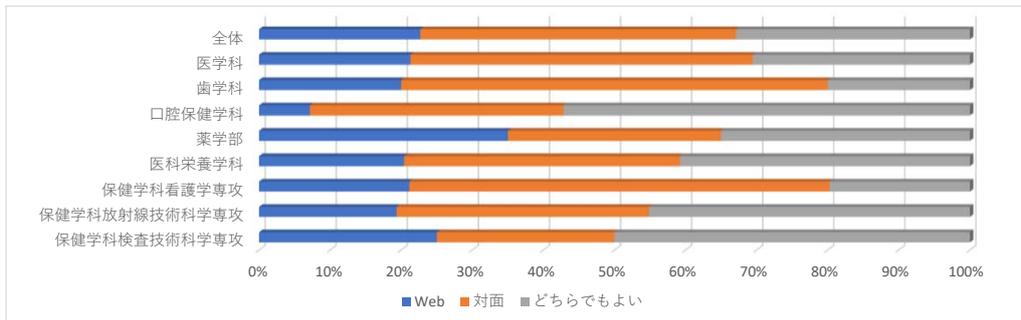
13.共有PowerPointは、問題なく使用できましたか



問題点 1 PCのキャパシティ、通信環境に左右された

- 2 通信環境のラグにより反映されないことがしばしばありました
- 3 全員で入力したときにタイムラグがあって結局書記が必要になった
- 4 ラグがあって、操作しにくかった (3)
- 5 動作が重かった (8)
- 6 動作が重くなってしまい、何度か終了して再起動する必要があった (5)
- 7 共有がうまくされなかった
- 8 共有で使用すると、動きが遅くて、マッピングを書き込むのに時間がかかり、話し合いを進めるのに時間がかかった
- 9 ブラウザ版だからなのかはわからないが、機能に制限があった(使用できない図形などがあった)
- 10 当日の朝、一部のスライドが消えていた。原因は不明です
- 11 突然スライドが1枚消えてしまった (マッピングのもの)
- 12 せっかくプロブレム等をリストアップしてあるのに、マッピングの時に打ち直さなければいけない。テーブルにリストアップするのではなく、テキストボックスに一つずつリストアップしていく形にした方がスムーズに進められると思う
- 13 共有パワーポイントと、当日は書記などを決めて画面共有によるスライドの作成など、併用してできたらもっとスムーズにできそう
- 14 使用はできたが、画面共有して1人だけが記入するやりの方が、通常授業で慣れているしやりやすかった
- 15 スペースが小さく、話し合いながらタイピングするのがむずかかった
- 16 書き込みの仕方が分からなかった

14.WSはWebと対面とどちらが良いと思いますか



6.上記2～5以外で、今回あなたができたと思うことは何ですか

- 1 積極的に意見を共有した
- 2 患者さんの今後起こりうることを考えた意見を言うことができた。
- 3 司会者として班をまとめられた
- 4 他職種の専門性について理解が深まった。
- 5 画像の説明
- 6 看護師の立場からの意見を述べることができた。
- 7 放射線治療のアプローチ
- 8 医学科の観点から
- 9 歯に関係することに関して説明することができた

- 10 積極的に意見を述べること
- 11 他職種が考えていることを考慮した上で提案できたこと。
- 12 積極的に発言できた
- 13 他分野の方々の考え方を知ることができました
- 14 多職種の理解
- 15 全体的な会話を促せた。
- 16 意見を多く出す
- 17 医学科が説明してくれた内容でわからない箇所を聴くことで、多職種の人の理解にも貢献できた
- 18 患者さんの症状や治療について詳しく考えることができた。
- 19 職種関係なく分担して話し合いを進めることができた
- 20 リーダーになったが、みんな積極的に発表してくれた上で、静かな時間は当てることが出来た。
- 21 新たな意見交換
- 22 他の職種の方の意見を聞き、自分の職種でどのように生かせるかを学べた。
- 23 患者の問題点を紙上から多く読み取ることができた。
- 24 書記、発表担当を行えた
- 25 司会をやって進行したらよかた
- 26 司会進行を通して、コミュニケーションを取ったことがない他職種の方がいる中でも率先して発言し、周囲が発言しやすいよう工夫することができた。
- 27 他の学科の方が重要視している視点を知ることができた。
- 28 自分視点からの意見提案
- 29 専門的知識の部分ではないけれど、マッピングの際に、ここはこうした方が良いのではないかと、いうことを積極的に発言し、よりわかりやすいマッピング作成をできた。
- 30 自分の専門分野に関する知識共有
- 31 1つの問題に対して他学科と協同して解決策を考えることができた。
- 32 他職種の仕事や考え方について理解できた
- 33 治療についての方針を決めることができた
- 34 経口摂取ができなかった場合、どのように栄養を補給するかの提案ができた
- 35 患者の血液検査から患者の栄養状態を把握して説明できた。
- 36 知らなかったことをその内容に明るい人に聞くことができた。
- 37 積極的に意見が出来たと思う。
- 38 司会としてみんなに意見を聞くこと、
- 39 緊張はしたが、自分の意見をきちんと伝えることができた
- 40 自分の疑問を投げかけることができた
- 41 他職種同士がどのように連携しているのかについて学ぶことができた
- 42 入院生活に関して話す中で、患者の背景や周囲の人についても考える必要があると理解すること。
- 43 専門用語ではなくわかりやすく伝えること
- 44 司会者としてグループでの意見を聞くことができた
- 45 最初はみんな喋りにくいと思ったので率先して司会をすることで最小限の時間で課題を終わらせることができた。
- 46 グループの話し合いの中で新しい視点からの意見をいうことができた。
- 47 放射線領域の知識の提供
- 48 事前学習で調べてきたことを活かすことができた
- 49 他の職種においてそれぞれどういったところに関わるかを理解すること。
- 50 グループメンバーに質問できた
- 51 リーダーとなって皆さんに意見いただけたと思います。
- 52 いろいろな意見を出してもらえるようにうまく司会ができたと思います。
- 53 チームの中で看護職が何を優先すべきなのかを考え、多職種に共有できた。
- 54 他職種の専門的分野に関心を持てた
- 55 書き込み
- 56 疾患や治療についてそれぞれの専門の学生から話が聞け、理解が深まった。
- 57 他の職種の目線でも考えることができた
- 58 発表内容の補助
- 59 他職種との連携を考えて発言できた
- 60 それぞれの職種での考え方の違いが分かった。
- 61 グループ内での意見交換や教え合い。
- 62 話し合いの補助的な役割
- 63 マッピング作業に積極的に参加できた。
- 64 書記を担当し、皆さんがたくさん意見を出してくれたので考えが重複していたところもあったが、書記として意見をまとめつつスライドに分かり易く反映することを心がけた。
- 65 看護職としてできることや、必要な情報、問題点の共有ができた。
- 66 司会として時間配分を行いグループワークを進めた
- 67 意見を積極的に述べられたと思う。
- 68 司会ができた
- 69 i色々話せた

- 70 発表の段取りがうまくできなかった
- 71 他の職種の方が期待していることを知ることができた
- 72 専門分野についての知識の共有
- 73 話し合いが円滑に進むように貢献できた。
- 74 様々な要因から関連付けて看護問題を挙げることができた。
- 75 他の職種とどのように協力すればよいかを考えること。
- 76 自分の職種にかかわること以外でも事前学習などで学び、GWでさらに知識を深めることができた。
- 77 グループワークを円滑に進められたこと
- 78 看護と他職種との違いをふまえて、病棟での実習の学びと体験を用いて発言することができた。
- 79 司会
- 80 チームで協働すること
- 81 他学部の子生を聞き、新たな知識を得ることができた。
- 82 わからない点を他職種に人と共有することができた。
- 83 多職種に対して自分のできることについて説明できた
- 84 わからない分野のことは積極的に質問した
- 85 司会として分からないなりに議論を進めていった
- 86 積極的な発言
- 87 自職種についての説明
- 88 初めて顔を見合わせたメンバーであってもみんなで解決しようとお互いに協力し合うことができた。
- 89 歯科の専門的な意見は自分しか言えなかったの、歯科の観点からの意見が言えた
- 90 他の班員に話をふることで話し合いを円滑にすすめることができた
- 91 医療チームを作っていく上でお互いに持っている情報を共有することができた
- 92 栄養士の観点で、問題点などを提案できた。
- 93 司会
- 94 なるべく自分の意見を言うように心がけた。
- 95 司会ではなかったが、最初の会話の流れを作れた。
- 96 意見を出す
- 97 他学科との連携について具体的に話し合いができて勉強になった。
- 98 患者の希望に沿った治療を進めていくためにはどのようなことを考えながら治療方針を決定するかについて考えることができた。
- 99 率先して書記を務めた
- 100 幅広い範囲で下調べをした。
- 101 他の職種の方から話を聞いた
- 102 自分の職種ができることをグループワークや発表を通して伝えた
- 103 自分の学部の行っていることに対する多職種の方への理解が得られた。
- 104 まだ、臨地実習をしてないながらも患者さんの状態を想像しながら作業できた
- 105 他業種側から医師側に期待することがあるか意見を促せた点
- 106 食事に関する意見を他の学部学科の人に提案できた。
- 107 専門性を生かした意見交換ができた
- 108 多職種の専門分野について質問すること
- 109 薬剤に関する相互作用や副作用についての情報提供
- 110 会話を回すことができた
- 111 会話を積極的に行った
- 112 唯一の歯科医師として口腔の問題点を話せた。
- 113 司会
- 114 事前にたくさん調べていたのである程度安心して議論に望めた。
- 115 積極的に発言すること
- 116 様々な職種の意見や詳しい治療について理解できた。
- 117 司会としてみんなの意見をまとめることができた。
- 118 発表スライドのレイアウトについての確な意見を出せた。
- 119 司会として話を振ることで各班員に意見を聞くことができた。
- 120 司会として周りの意見を取り入れ、まとめることができた
- 121 特に、歯学関係に関して、これまで学ぶ機会が少なかったの、新たな発見がありました。
- 122 他職種がどのような動きをして、自職種がどのようなアプローチができるのかについて積極的に発言、質問できた。
- 123 自分の学んでいる分野の職種が貢献できる本症例の患者の問題点等について。
- 124 管理栄養士とがどこの問題解決につながるのか発言できた。
- 125 全員からまんべんなく意見を引き出すこと。出してもらった意見について、同意・補足・まとめを行うこと。
- 126 自分の分野から分かることの共有
- 127 患者の立場に立って考えることが出来た
- 128 司会として議論を円滑に進められた。
- 129 専門外の専攻の方が挙げた、大枠の項目に対して質問することで細かいところまで項目を挙げることに繋がった。
- 130 薬の知識を活かして疑問に答えることが出来た
- 131 わからないことに質問できた
- 132 多職種の役割がわかった

- 133 チーム医療の形を伝えることができた。
- 134 場を盛り上げる相槌
- 135 他職種との連携の重要性について知ることができた
- 136 薬学科の学生からPET-CTの所見について説明を求められたときに、上手く説明できた。
- 137 様々な職種の方々と意見交換することで異なった視点や知識を得ることができた。
- 138 役割分担時の積極的な申し出
- 139 他職種と連携できる業務はないかを議論した。
- 140 看護視点での意見を
- 141 不足している視点がないか考え、意見することができた
- 142 患者の畑について考えることができた点
- 143 他職種の視点を知ることができた
- 144 質問をした
- 145 話し合いに積極的に参加できた
- 146 他の職種の役割を知れた
- 147 スムーズなパワーポイント作成のサポートができた。
- 148 パワーポイントの発表
- 149 司会として進行を進めた。他職種との連携の必要性を感じた。
- 150 自分の知っている知識や、話し合いの中で思ったことや考えたことをその都度、発言していった。たくさんお話できた。
- 151 司会だったので全員から意見を聞いて良かったなと思いました。
- 152 同じ症状について他職種の立場からの観点で多くの新たな気づきがあった
- 153 他の学科・専攻の意見を尊重した上で、自らの見解を述べることができたと思う。
- 154 薬学部で学んだことを他の学部の方に共有することができた。
- 155 患者さんについて医療チーム全体としての観点から話し合うことができた。
- 156 全員に話を振れた
- 157 検査値などの臨床部分での情報のやり取り、知識の共有
- 158 他職種から見たその人以外の職種への意見を知ることができた。
- 159 一つの課題に対して専門内・専門外の意見の統合を行うこと
- 160 実習で学んだことなどをふまえて意見を出すことができた。
- 161 自分の職種の役割を話せた
- 162 薬について他学部の説明
- 163 事前準備の量は多かったように思う
- 164 中心となる職種・職域の積極的な検討
- 165 多職種の専門性や仕事内容に興味を持って取り組むことができた。
- 166 グループワークを通して色んな職種の考え方を知れた
- 167 意見のまとめ
- 168 授業で習ったことだけでなく、他の学科の方の意見を踏まえて管理栄養士として何ができるのかを考えることができました。
- 169 他の医療関係職種からの質問に対する回答
- 170 看護技術の行為（清拭や足浴）についての有用性を伝えられた。
- 171 問題点を多くあげること
- 172 意見を整理して見やすくまとめること。
- 173 みんなの意見をまとめて発表した
- 174 他職種の方から、薬剤師がどのようなことを求められているのか知ることができた。
- 175 医学科の全体的に広く学習しているという特徴から、各学科の専門的な話の橋渡しをできた点
- 176 今までではあまり考えていなかった緩和ケアについて考えることができた。
- 177 知りたいことを他職種に聞くことができた
- 178 チームで行うことの大切さを学んだ。
- 179 進行で、他学科の方の意見を積極的に聞くことができ、話し合いを進めることができたと思う。
- 180 他の方の意見に対して薬剤師が関わることが出来ることを補足することが出来た
- 181 分からないところは、それぞれの専門の学生に意見を聞いた。
- 182 パワーポイントでの作業、発表者の話を要約してまとめる
- 183 薬剤のことに情報共有できた。
- 184 他職種の方の意見を聞いて自分にはなかった視点から考えることが出来ました。
- 185 前後関係を意識した資料の作成に貢献できた
- 186 積極的な発言
- 187 自分の専門的な視点を積極的に伝えられた
- 188 事前学習により、患者の病態について詳しく理解することができた
- 189 誰かが出してくれた意見があったうえで修正案の提示
- 190 問題点の抽出と分析、対応など
- 191 自分の目指す職種についての理解が深まった。
- 192 グループワークがスムーズに進むような声かけはできたと思う
- 193 意見を出すこと
- 194 他の学部の人との意見交換

- 195 他職種間での連携の必要性を感じることができた
- 196 学科の講義や実習で使用することが多い為、パワーポイントでのスライドの作成には貢献できた。
- 197 医学的なアプローチを説明できた
- 198 他の職種の意見が聞けた
- 199 自分から喋れた。
- 200 薬剤師役として、使用薬剤に関する情報提供が上手くできた。

7.上記2～5以外で、今回あなたができなかったと思うことは何ですか

- 1 より詳細な医学的議論
- 2 分からない単語が出た時に質問できなかった。
- 3 看護師として何が出来るか言及することができなかった。
- 4 話し合いをスムーズに進める手助けがあまりできなかった
- 5 活発な議論
- 6 発言を公平に促せなかった
- 7 他学科の学生さんからもっと話を引き出すことができれば良いと感じた
- 8 意見をまとめたり
- 9 意見に対してあまりリアクションが取ることができなかった
- 10 診療方針についてもう少しブラッシュアップする必要があるのではと思う。
- 11 自職種の知識が足りなかった
- 12 もう少し深く、治療方針などについて、皆で話し合ってみたかった。深い議論をする時間がなかった。
- 13 時間管理
- 14 リーダーシップをとって話すこと
- 15 自分で他の分野との関連を見つけられなかった。
- 16 全員の意見を十分に引き出すことができなかった
- 17 分からないことが多く全ての理解が難しかった。
- 18 治療決定の中心としての医師の立場で包括的に全員の意見をまとめることができなかった。
- 19 社会福祉の観点からあまり話すことができなかった。
- 20 具体的な薬剤の名前と歯痛の関係がわからなくて、少し困った
- 21 考えがまとまらず流れが止まってしまった。
- 22 退院後の医療体制についての意見交換
- 23 歯科の介入について意見を言いそびれてしまった
- 24 他の職種の知識が全く無かったので治療方針にあまり関わることができなかった
- 25 具体的な治療の提案などが出来なかった
- 26 もっと他職種の内容を予習していけばよかった
- 27 仕切り
- 28 他職種の仕事内容が理解できていなかった
- 29 他職種との連携をもう少し図った意見があっても良かったと思った
- 30 適切なタイミングでの発言
- 31 歯の専門的な言葉をみんなに意味が分かるように言い換えることが難しかった。
- 32 抗がん剤について聞かれたときにあまり詳しく答えられなかったこと
- 33 他職種の役割についてもっと質問できたらよかった
- 34 他の分野の知識が乏しく理解が難しかったこと。
- 35 詳しくない病気の薬の提案
- 36 方針がひとつ不可能だった場合のための複数の選択肢を考えること。
- 37 最初パワーポイントがうまく
- 38 同じグループの方への質問
- 39 専門分野に知識が曖昧でした
- 40 他のメンバーに意見を求めること
- 41 司会
- 42 退院後の支援についてあまり十分に考えを深めることが出来ていなかった
- 43 詳しい所見の伝達
- 44 検査値などわからないものが多く知識不足を感じた。
- 45 あまり意見を多く出せなかった
- 46 発表への質問
- 47 職域同士のつながりについて考えるのが足りていなかった。
- 48 特にありません
- 49 看護師側の意見があまりいえなかったと思う。
- 50 看護の専門性を活かして積極的に話し合いに参加することができなかった。
- 51 症例の理解
- 52 患者の気持ちに寄り添った問題を考えること
- 53 他の職種の方がおっしゃっていた専門用語がすぐにわからなかったこと。
- 54 検査技師としての立場を話し合いに活かすことができなかった。

- 55 意見をまとめるのが上手くいかなかった
- 56 患者の精神面でのケアをどう行っていくかというのを考えるのを自分で考えるのは難しかった。
- 57 食事とあまり関係がない項目についての質問
- 58 あまり意見を言えなかった
- 59 看護の視点からの介入に考えが偏りがちだった。
- 60 自分の学科の立場から何ができるかをもっと沢山出したかった
- 61 各意見をまとめること
- 62 医師としての立場で意見をあまりできなかった
- 63 積極的な意見の交換
時間の問題や、具体的な対策について話す場面がなかったこともありますが、管理栄養士の立場で、どのような栄養補給法が良いのか、
- 64 どの疾患に対する治療を主とした食事療法にするのか、といった検討をすることが出来なかった。
- 65 事前学習の段階で患者の全体像をつかめきれなかった
- 66 質問されたことにすぐ答えられなかった
- 67 他の人が持っている知識の確認
- 68 知識不足があり、もっと話せたらよかった
- 69 職種の専門性をいかしたマッピングを作成すること。
- 70 歯学部の実生がいなかったため歯周病とその他の関係が分からなかった
- 71 医師目線としての意見が少なかった
- 72 栄養に関連する知識の提供
- 73 検査技師として患者にどう関わるか具体的なイメージが浮かばなかった
- 74 自分の役割をしっかりと説明するのが難しかった
- 75 食欲が低下した場合、どうしたら経口摂取を促すことができるか提案できなかった。
- 76 資料作成時の協力や積極的な発言
- 77 食事との併用（薬剤のこと）について質問すること
- 78 自分が調べて確実に話に入っていける時以外にも話に入ること。
- 79 メンバー以外の職種の人の関係性
- 80 検査や医科栄養の方の意見をあまり聞くことが出来なかったため、もう少し意見を聞くことができれば良かった。
- 81 マッピング作成に時間を割いてしまい、意見交換の時間が少なくなってしまった。
- 82 役職に自ら手を挙げてつくことはできなかった（積極性に欠けていた）
- 83 意見を言う前に少しためらった
- 84 他の班の意見を聞いて、薬についてもっと深く調べることができたと思った。
- 85 他の学部との関連付けがあまりうまくいかなかった。
- 86 他の専門の内容についてしっかりと理解することができなかった。
- 87 マッピングを整理して考えることができなかった
- 88 他種の専門的な知識をもっと学びたかった。
- 89 栄養面でのサポート
- 90 医師や看護師に着目した視点が多かったため、薬剤師や管理栄養士ができるケアについてもっと意見を引き出せればよかった
- 91 自分の職種が他職種の人のどのようにかかわるのかについてうまく説明できなかった
- 92 発言したり、他の職種に質問したりすることが、少ししかできなかったと感じた。
- 93 今後の細かい方針設定
- 94 職種間の連携についての話し合い
- 95 意見を出しやすい環境を作ること
- 96 ディスカッションが出来なかった
- 97 問題点同士の共通点・類似点を見つけて、関係性を明らかにすること。
- 98 わからなかったことの質問
- 99 自分の専門分野のことについてかみ砕いて説明することができなかった。
- 100 各項目の関連をもう少し幅広く考えることができればよかった
- 101 全員の意見をまとめて最終的な対応に関する発表が難しかった
- 102 最初の時点ではいまいちこのチュートリアルであるべきことが把握できていなかった。
- 103 意見をまとめること
- 104 具体的な検査結果についてすべてを理解することはできなかった。
- 105 他職種の仕事内容についても調べて置いた方が、円滑に進められたのではないかと思う。
- 106 症状から身体の栄養状態を導き出すこと
- 107 最終的な治療方針や流れといった班としての結論があいまいになってしまったと感じた
- 108 積極的発言
- 109 積極的に発言すること
- 110 会話への積極的な参加
- 111 マッピングに時間がかかり、これまでのPBLに比べて議論が少なく感じた
- 112 自身の学科の専門的な部分の理解が薄くあまり発揮できなかった。
- 113 他職種の方にもっとたくさん質問できればよかった
- 114 社会制度面からのケアについて考えられなかった
- 115 自分から話すことが少なかった

- 116 zoomでのコミュニケーション
- 117 自分の専門範囲の内容を質問されたがうまくできなかった。
- 118 社会福祉の面から話を広げること
- 119 議論する内容が網羅できておらず、他の班の発表をみて気づく点がいくつかあった。
- 120 多職種の専門用語でわからないものがあつたときに、自分の理解よりも班の進行を優先して質問できなかった
- 121 専門のことについてわかりやすい説明ができなかった。少し想像しにくかつたかもしれない。
- 122 治療に関しての専門的な内容をもっと詳しく話せばよりよかつたと思ひました。
- 123 他職種ができることや専門性の特徴について、積極的に質問することがあまりできなかった。
- 124 他学科の分野に対しての話し合ひに参加することが難しく、あまりできなかった。
- 125 事前学習の量がすくなかつた。
- 126 自分の専攻分野についてあまり詳しく話せなかつた
- 127 他職種間のつながりをもっと深めることはできなかった
- 128 専門的な用語をわかりやすく説明
- 129 多職種との共通の業務を考えること
- 130 もっと意見を出すべきだつた
- 131 もう少し意見を出す
- 132 看護同士のカンファレンスとは違つて、それぞれの専門性が高すぎてついていけなかつたところがあつた。
- 133 分からない知識を十分に調べずに放置してた
- 134 歯科と他職種との連携
- 135 歯などの普段考えていない部分の視点を持てなかつた
- 136 話を進めること
- 137 積極的に発言すること
- 138 グループ全体での議論はできたが、特定職種との1対1の意見交換が行えなかつた。
- 139 専門的な分野に関するより深い知識の提供
- 140 内容について、専門学科の人への質問
- 141 歯科治療についての理解
- 142 司会者が困つているときの手助け
- 143 意見交換の際に積極的に発言できなかった。
- 144 職種と問題点を上手くつなげることができなかった
- 145 患者の考えや希望に寄り添つた考えができなかった
- 146 時間が足りなかつたので、話し合ひのときに薬剤師はじめ各専門職種ができることを深く掘り下げることが足りなかつたと思う。
- 147 治療について（方法、副作用など）の知識がなく、看護の視点からの意見が出しづらかつた
- 148 専門知識をどこまで伝えるべきかわからなかつた。
- 149 はじめて話す人たちと連携することの難しさを感じた。
- 150 多職種との連携の点での具体的な考えが少なかつた。
- 151 他の職種に期待することについて意見が出せなかつた
- 152 自分の職種以外の分野での問題を理解する
- 153 画像診断が全く分からなかつた
- 154 他職種の方への質問
- 155 全体にはなしふれなかつた
- 156 自分の職種がどのようにかわれるか言えなかつた
- 157 積極的な発言
- 158 積極的な意見交換
- 159 自分の専門に関する知識が浅くて貢献度合ひが低かつたと思う。
- 160 多職種の人に対して、何ができるのかわからなくて頼るのも難しかつた。
- 161 他の学部専門的な話を理解するのが難しかつた。
- 162 事実からさらに知識に基づいた意見を述べること
- 163 他の職種に関することを調べられていなかつた。
- 164 患者さんの立場に立つて考えるということが足りなかつた。（患者の心情、経済面など）
- 165 緩和ケアについての具体的な話し合ひ
- 166 スムーズな話し合ひ
- 167 消極的になつてしまい、他学部への質問があまりできなかった
- 168 まとめ上げること。
- 169 積極的な発言をすること
- 170 病気そのものについての理解が乏しい面があつた
- 171 時間が足りず、事例の患者の支援について深く話し合ひることができなかった。
- 172 他の職種に対する要望、期待する具体的な内容
- 173 進行が円滑に進められなかつた。
- 174 グループ内にいない職種に関して討論できなかった
- 175 知識不足
- 176 見やすいパワーポイントの作成
- 177 考えたことがあつても、まちがつていたり、自分の勉強不足ではないかと考え、発言を躊躇した点。

- 178 スムーズな議論の活発化
- 179 積極的に発言しなかった
- 180 専門的な議論
- 181 自職種と多職種と関わりが示せなかった
- 182 オンライン開催であったこともあり、会話や作業が少し行いづらく遠慮してしまう部分があった。
- 183 歯科の問題点を他科の人に説明しその優先順位を決める時に、歯科の問題点が全体的に見たらどこに来るのがわからなかった
- 184 発表スライドをわかりやすく(字の大きさ、分類わけなど)まとめられなかった
- 185 患者の金銭面について考えることがなかった
- 186 課題について相手が思っていることをもう少しスムーズに聞き出せればよかった
- 187 意見は述べられたが、あまり率先して意見を言うことができなかった。
- 188 積極的に意見を言うこと
- 189 全員からまんべんなく意見を聞く
- 190 リーダーの方への負担が大きかったと思う。
- 191 他の分野の視点を考えられなかった
- 192 時間がなかったのもあるが、薬について分かりやすく説明できなかった。
- 193 パワーポイントをうまく利用できなかった
- 194 徳島大学にある学科以外の職種について、あまり話し合えなかった
- 195 他職種との連携に関する問題が明示できなかった
- 196 医学科や歯学科などはできたが、看護や放射線との連携について思いつくことが少なかった。
- 197 自分の職種が関わるのでできる場面についてあまり理解できていなかった。
- 198 もう少し放射線技師としての情報を発言出来なかった点
- 199 専門領域のことをしっかりと伝えられなかった
- 200 話を中心的にまとめることができなかった
- 201 話し合いの始まりを促したり、話し合いを進めること。
- 202 均等に話を振る
- 203 他の分野について分からないことが多くて、何を聞けばいいのかもわからず、発言があまりできなかった。
- 204 チームとして患者に関わる具体的な案の理解
- 205 他の学科に関する専門的な内容について、理解が難しいことがあった
- 206 意見をまとめるのが難しかった、発表の情報の取捨選択など。
- 207 自分の範囲で知識が足りなかった
- 208 他の職種の人への積極的な質問
- 209 司会の担当であったが、他の人から意見を引き出すのが難しかった。
- 210 自分が志していること以外であまり議論への参加ができなかった。
- 211 見やすいスライド作成
- 212 専門的な用語がわからないことが多かった。
- 213 自分の疑問を発信すること。
- 214 自分の守備範囲外のことをなかなか考えることができなかった
- 215 話し合いに入っていない人に上手く声をかけることが出来なかった
- 216 医師側と他職種側の関わりをもう少し詳しく詰めていきかけた
- 217 時間の関係上自分の意見を全部伝えることが出来なかった
- 218 他の職種の専門性への理解がもう少し必要だと感じた
- 219 社会福祉に関する分野の発現
- 220 副作用や代替薬についての具体的な対策案
- 221 知識不足を感じた
- 222 意見をまとめきれなかった
- 223 時間の関係上多くの説明ができなかった。
- 224 他の人の発言に対する自分の意見を伝えること
- 225 自分が目指す職種の役割についての理解が少し足りなかった
- 226 発言がしづらかった。
- 227 うまく討論に持ち込めなかった
- 228 他職種の方から薬のことについて聞かれたとき、とっさに答えられなかった。
- 229 他の分野の理解がまだまだ
- 230 多職種連携が必要なところを考えること(マッピングすること)
- 231 中々積極的に発言出来なかった
- 232 職種のマッピングまでたどり着けなかった。
- 233 自分の意見を言うことがなかなかできなかった。
- 234 発言の少ない人とも協力すること。
- 235 会話の促進
- 236 地域包括支援について、連携の仕方がよくわからなかった。
- 237 時間配分が上手くいかず、すこし早く終わってしまった。
- 238 発表時に緊張して内容をとぼしてしまった。わかりやすく伝えられなかったと思う。
- 239 スムーズに進行できず、もたついてしまったところがあった

- 240 時間が足りず、十分なディスカッションができませんでした。
- 241 他職種に納得してもらえる根拠の話方
- 242 問題点をいつ解決するべきなのか。どの段階で行うべきなのか。
- 243 管理栄養士として専門的な面から意見はあまり言えなかったこと。
- 244 司会として他職種の人から色々と意見を引き出すことは出来たが、フリーで意見を求めると沈黙になってしまうことが多く、広い質問をすることがあまりできなかった。
- 245 どの分野でも共通していることについての議論
- 246 他の職種の立場に立って考えることが少し不十分だった
- 247 患者の心理面についてあまり配慮できていなかった。
- 248 自分の専門性にたいして知識不足のため、意見の発表があまりできなかった。
- 249 他の人に発言を促したり、活発なディスカッションに貢献できなかった。
- 250 他職種の仕事内容などを理解して話を振ること
- 251 他職種との連携の点でどの職種が関わるのか考えられなかった
- 252 積極的に意見を言うこと。
- 253 明確な説明
- 254 患者の意思についての話題を提供して、それが結論の一部に使われたとはいえ、薬物治療についての話題は提供出来なかった。
- 255 積極的な発言が
- 256 連携をどのようにとるか具体的にわからなかった
- 257 患者さんの身体に起こりうることを予測できなかった。
- 258 反対意見をあまり
- 259 自分の専門以外の分野についてもっと知りたかった
- 260 広い知識は持っていますが、深い知識はもっていませんでした。
- 261 自身の職種のアピールが足りなかったと考える。
- 262 他職種分野のわからない部分への積極的な質問
- 263 薬剤師以外の職業に対する理解が浅かったので協力可能な職業を挙げるができなかった。
- 264 他の職種の方との連携方法についてもう少し具体的に考えたらもっと良かったと思う。
- 265 マッピング作業で話し合いをあまり進められなかったこと
- 266 他職種に対して質問ができなかった
- 267 発表や司会などの役割
- 268 自分の専門分野以外の内容があまり分からなかった
- 269 人数の関係上、足りない学部分野を十分に議論することができなかった
- 270 ほかの職種の専門分野について理解を深めること
- 271 意見をあまりいえなかった
- 272 患者の気持ちを自分の事のように寄り添って考えること
- 273 十分な事前学習
- 274 歯科と多職種の連携についてはあまり詳しくなく発言できなかった。
- 275 他の職種の人と具体的にどのように連携するかまでは考えられていなかった。
- 276 他の観点からの意見を出せなかった
- 277 なし
- 278 食事内容がわからなかったため、具体的な提案ができなかった。
- 279 検査値からの病気の推測
- 280 自分の職種からみた意見を多職種の人に説明するのが難しく感じた。
- 281 参加学科以外の職種（ソーシャルワーカーなど）について考えていなかった。
- 282 栄養に関する情報がなかったこともあり、あまり意見をいろいろ言えなかった
- 283 これまで自分の職種としての治療を考えたことはあったが、多職種との連携のなかで管理栄養士がどういった仕事ができるのかというのを体験したことがなかったため、他学科の役割に対して、補足的にできることなどを考えるのは難しかった。
- 284 他職種の役割をあまり把握していなかった
- 285 他職種の役割や仕事内容について事前学習をしていなかったので自分の領域について一方的に話す形になってしまったかもしれません。
- 286 質問にうまく答えられなかった。また、発表はしたがうまく話せなかった。
- 287 質問に対して適切な回答ができなかった。
- 288 事前にもう少し詳しく調べておくべきだった
- 289 中心となる職種や職種間のつながりを考えながら議論できなかったため、最後に慌ててまとめる形になってしまった。
- 290 専門知識を生かしきれなかった。
- 291 臨床検査技師の役割について知らず、検査の学生さんとのように話しかけるか分からなかった。
- 292 司会
- 293 意見を促す時に全員に対して促してしまい、個別にお願いすることが出来なかった
- 294 患者の家族の考えや生活の環境に対する配慮に
- 295 あまり職種に関した議論ができなかった
- 296 緊張もあり、多く発言することがなかった。
- 297 より事前に調べるなどして知識を持っておくべきだった。
- 298 具体的な薬の代替案などを調べ切れてなかった。
- 299 グループワークにいた職種以外との連携について考えることができなかった。
- 300 司会を担当したのですが、web上の会議ということで、意見が出にくくまとめるのがむずかしかったです。

- 301 マッピングに精一杯でケアの部分の議論が不十分だった。
- 302 医学専門部分と他職種とも関連tについてもう少し深く情報を伝えるべきだった
- 303 歯科領域に対する知識不足
- 304 あまり活発な討論が行えなかった。
- 305 自身の分野以外のことについてももう少し考慮してていあんしたほうがよかったと感じる
- 306 他職種からの質問が無いと、特に話せることがないと感じた。
- 307 時間の関係で、治療方針に対しての学部間での認識のずれを訂正すること
- 308 Zoomだと緊張がほぐれるまで時間がかかった気がする
- 309 時間がかなり押していたが、時間について言えなかった
- 310 症状と薬の関係づけ
- 311 自身職種としてできることを即座に言葉にすることが難しく、十分に発言できなかった。また、グループワークの司会を担当したが、多職種との連携が初めてで、話を振る等、話し合いを進行させていくことが困難であった。
- 312 他の学科からの観点をほとんど持ていなかった、特に歯学
- 313 X線写真の見方が分からなかった。
- 314 自分の職種以外のことについて理解できていなかったため意見できなかった。
- 315 自分の職域や他の職域から期待することを話せていない
- 316 病院実習をしていないので、他の学科の方が実習での経験が話されて管理栄養士が現場で実際にどのようなことをしているのか話すときに少し難しい場面がありました。
- 317 専門性を生かすための知識を付けなければならぬと思った。他学科の方は自分の領域のことを理解していてすごいと思った。
- 318 画像に対する所見をいうこと
- 319 退院後の支援について、もう少し説明できればよかった。
- 320 職種同士の連携について理解が不十分だと思う
- 321 自分の分野以外の部分で気づいたことがあっても意見を出すのを躊躇してしまった
- 322 問題点同士の関連性を指摘すること
- 323 社会的なサービスや資源への理解度が甘かった。
- 324 他職種の職務の内容があまりわからず、連携をあまり考えられなかった。
- 325 肺がんについての知識不足で理解できない所が多々あった
- 326 今回の班には、歯学部の方がいなかったなので、歯学的な観점에서話し合うことが少なかった。
- 327 どこまでが医師の仕事の範囲なのかあまり理解できていなかった。
- 328 積極的な発言
- 329 社会的支援(ソーシャルワーカーなど)への理解不足
- 330 話し合いをうまく回すことができなかった。
- 331 栄養の知識
- 332 まとめることやリーダーシップ
- 333 本学にない職種の専門性についてあまり理解していなかった
- 334 歯学科、口腔保健のメンバーがいなかったので、歯学の意見があまり出なかった
- 335 沈黙時に積極的に発言すること
- 336 退院後のケアについて、プランを考えること
- 337 時間が限られていたため、自分の意見を一方的に発することが主であった。より討論を行うことができれば良かったと思う。
- 338 作業を時間内に収めることが難しく、他学科の意見を一つの問題に対して十分に聞くことができなかった。また、もっと話題を深く広げられたのではないかと感じた。他職種の役割についてももう少し理解を深めた上で、発言を広めていけるようにしたい。
- 339 あまり上手く意見をまとめて発表することが出来なかった
- 340 みんなが一丸となるチーム医療の考えが足りてなかった
- 341 患者さんの経済的な配慮について考えること
- 342 患者の経済的配慮
- 343 疾患に関する自己学習
- 344 医学部の子とはたくさん議論できたが、看護や他の学科ともう少し話せたらよかった
- 345 積極的な発言
- 346 患者の経済的な面を考慮すること
- 347 薬剤などの知識が不足していたのでその視点からの考えを深めることが難しかった。
- 348 ある程度時間が経ってから見つけた修正箇所を指摘できなかった。
- 349 Zoomでの画面共有など基礎的な操作面での知識不足
- 350 職種ごとに具体的に細かく理解することができなかった
- 351 患者のQOLについて、金銭面のことを考えることができていなかった
- 352 開始直後の積極的な発言
- 353 病気に関して深掘すること
- 354 自分の専門分野以外で分からない部分があった
- 355 積極的な発言ができなかった。
- 356 看護の視点の意見を積極的に出すこと
- 357 司会の進行を助ける
- 358 職種の詳細な役割分担
- 359 あまり意見の対立が起こらなかった
- 360 時間配分を考えて、効率よく作業を進めていく

- 361 なんとなく先輩が多いのかなと感じ、あまり意見を言えなかった
- 362 司会として趣旨を理解して円滑に進めることが難しかった
- 363 新たな検査の提案
- 364 自分の知識不足を感じた。
- 365 司会を担当したが、あまりメンバーから発言を促せず、司会ばかりが話しているようなグループワークになってしまった。
- 366 他職種から求められていることがあまりわかっていなかったと感じ
- 367 もう少し職種について考えられたら良かった
- 368 積極的に発言する
- 369 司会であったが、上手く進行できず、綺麗にまとめられなかった。

8.できなかったことを改善するために今後どのような学習が必要と思いますか

- 1 ガイドラインやレジメンを用いて、これまでの経験的なケアについて学ぶ
- 2 看護師としての役割を今一度考える必要があると考える。
- 3 理解する勉強の仕方をする。
- 4 更なる理解
- 5 他の専門分野にもフォーカスをあてて多方面から患者さんのことを考えていくことが大切だと思った。
- 6 地域医療についての学習
- 7 自分の職域だけではなく、医療チーム全体を俯瞰してみること
- 8 他職種の勉強
- 9 日々の勉強の際に考える
- 10 より理解を深めることで対応する。
- 11 臨床的な観点から薬について学ぶ必要があると感じた
- 12 自分の専門分野だけではなく、他職種の専門分野もある程度理解しておくこと。
- 13 専門分野内外両方の勉強
- 14 まずは自分の学科の勉強
- 15 専門分野の知識についてもっと深める必要があります
- 16 まずは自分の職種の勉強をしっかり行い、さらに他の職種について理解を深める
- 17 ファシリテーション能力
- 18 知識を蓄える
- 19 それぞれの職域についてさらに詳しくなる。
- 20 積極的な発言を心がけたい。
- 21 看護が介入すべき点を見極めて、意見を言うことができるようになる。
- 22 自分の専門分野だけではなく、幅広い視野を持って医療について勉強することが必要だと感じました。
- 23 検査値について理解し、症状から必要な検査が考えられるように学習する。
- 24 事前学習をした際に、全体構造について自分なりにまとめる必要がある。
- 25 分からなかったところは調べる。
- 26 病態だけでなく、その周りのケアについても学ぶ必要があると思いました。
- 27 薬の知識を身につけて、薬剤師の視点でも考えられるようにしたい
- 28 司会の進め方が例示されていなかったのでグダグダになっていた
- 29 患者の状況に合わせた柔軟な対応を考えられる知識を身につけること
より具体的な討論ができるように積極的に話す力を身につけたり、もっと特定の疾患に対応できるような専門的な栄養の知識の学習と、
- 30 知識の定着が必要だと感じた。
- 31 自分の知識をわかりやすく伝えられるようになる
- 32 積極的に質問することや、このためのコミュニケーション能力
- 33 医師として様々な治療方針について勉強する
- 34 疾患や検査値の原因と栄養の関わり方の理解を深める学習
- 35 チーム内として医師の役割の理解をさらに深める
- 36 食欲低下時でも栄養が摂取できる栄養補助食品について
- 37 事前に考えをまとめる
- 38 薬学的な観点だけでなく、他の職種の観点を身につける。
- 39 発言者の頻度や量を見ながら進行すること。
- 40 患者の問題点をより具体的に抽出すること。
- 41 自分の知識を深め、自信を持って積極的に参加したい
- 42 詳細なことも事前に調べて知識を増やす。
他の専門の内容についても知りたいことや分からないことは積極的に調べて、チーム医療を円滑に行うために少しでも知識をつけること
- 43 が必要だと思った。
- 44 どのような連携が誰と必要かを考える力が必要
- 45 自分の役割がより把握するとともに、ほしい情報はどの職種の方から取り入れたらいいのかについて知る
- 46 一つのことについて深く知るだけでなく、事柄の関係性を考える学習が必要。
- 47 全身のこと
- 48 意見の出し方
- 49 わかりやすく伝えられるよう説明の方法を考え直す。
- 50 疾患に対する知識だけでなく、職種を超えたケアの方法についての理解をより深めていく

- 51 チュートリアル前からどのようなことをするのかイメージしておくべきであった。
- 52 正常な数値を理解することが必要である。
- 53 単純にもっと知識を蓄える
- 54 他職種の分野についてもおおまかに理解すること。
- 55 初対面同士でzoomはコミュニケーションが難しい
- 56 もっと勉強する。
- 57 社会福祉がどう関係するのかを他職種のひとに説明する能力
プロブレムの抽出の際に、ジャンル分けを行い、それぞれについてプロブレム適宜を行えば、漏れないように思う。他の職種のカ
- 58 バー範囲についても理解を深めておく必要がある。
- 59 コミュニケーション
- 60 実際の臨床における知識
- 61 他職種の役割を理解すること、他職種の人が看護職に何を求めているのかを考えることが必要である。
- 62 他学科の分野と栄養との関わりを授業内で見出せるように学習することが必要
- 63 疾患の機序を理解し、様々な要素を関連させながら学ぶ
- 64 もう少し広い視野を持ち他職種についても知っておく必要がある
- 65 説明の
- 66 グループワーク
- 67 インプットを増やす
- 68 もっと詳しい知識まで学習する。積極的に多職種と関わり、学ぶ。
- 69 検査以外のことも十分に説明できるだけの知識や経験をみにつけたい
- 70 事前に読み込んで自分の職種ができることをもっと考えておく
- 71 自信を持って発言する
- 72 他職種への理解を深める学習
- 73 症例と関連づけた栄養療法についての学習
- 74 より積極的に発言を行う。
- 75 グループワークでの話し合いの機会を増やすこと
- 76 疾患や薬物治療への知識を増やし、患者にとって最善で低リスクの治療法をチームで考える
- 77 各専門職種がどこで活躍しているのかを知るべきだと思う。
- 78 知識を
- 79 いろいろな職種と共通の課題を考える
- 80 勉強をして確かな知識をもって連携を深めることが必要だと思います。
- 81 医療・看護の知識をさらに深める必要がある
- 82 他職種の仕事内容を理解する
- 83 他職種の専門性についても理解できるようにする
- 84 画像診断の勉強を少しする
- 85 より広い視野や知識をもつこと
- 86 多職種の理解
- 87 自分の意見をうまく言えなかった
- 88 自身の職種の専門性の理解や他職種の理解
- 89 勇気を出す
- 90 まずは自分の専門分野をできる限りもっと詳しくなること。
- 91 自分の職種に関するだけでなく他の職種の知識も学習する。
- 92 相手の立場に沿った思考力を磨く。
- 93 がん看護についての学習
- 94 他職種との違いを理解しながら主体性をみにつける
- 95 課題の把握を即座にするための方法を学んでおく必要があると思う。他職種のできることの把握。
- 96 知識の定着など
- 97 退院を見据えた支援についても考える。
- 98 他職種の仕事内容を知ること
- 99 事前学習を行う。
- 100 チーム医療について改めて考え直し多職種連携について理解する
- 101 知識の補充のために勉強
- 102 専門的な学習を行う。
- 103 専門性の向上、医療全般の基礎知識
- 104 医療チームについての学習
- 105 もっと積極的に発言できるよう、自身の分野についての理解を深めるだけでなく、さらに他職種の役割についても関連付けて学習を深めていこうと思った。
- 106 自分の分野以外の医療の分野の管轄を把握し、それぞれの専門性を引き出せるようにする
- 107 人の話から要点を抽出し他人にわかりやすく伝えるため表現方法を身に着ける学習
- 108 保険適用の有無を把握する
- 109 自分が知りたい情報をよく整理して話す訓練が必要だと感じた
- 110 もっと病気のことや患者に対しての対応の仕方や栄養のことを理解する必要があると思った。

- 111 専門分野以外の人にわかりやすく伝える学習
- 112 周りに目を向ける
- 113 他の人の意見を促すことができるようにする。
- 114 専門的でない部分を分かりやすく伝えるように言い方を考える。
- 115 あらゆる医療職について知る・学ぶ
- 116 他学科の役割の理解
- 117 自分の職種の業務内容についてもっと詳しく学習する必要があると思った。
- 118 放射線技師としての仕事をより深く学ぶ必要があると考える
- 119 詳しく学ぶ。
- 120 すべきことの全体像を把握して進めやすい方法を提案する。
- 121 他の職種からの視点も勉強する必要があると思った。
- 122 自分の分野での専門的知識の補充
- 123 グループワーク自体についての学習と今後も同じような機会があればよいと思う。
- 124 もっと深く勉強していく
- 125 分からない点をあらかじめ明確しておく
- 126 多職種がどのようなことを行っているのか、どうしているのかについて学習する。
- 127 自身の専門分野以外の専門用語を知る
- 128 勉強面では疾患の理解、他業種との関連では他業種の職務内容についてももう少し詳しく知る
- 129 自分の意見を簡潔にまとめて短い時間でも伝えられるようにする必要があると考える。
- 130 他の専門職の役割について
- 131 薬剤だけでなく疾患に関する全体的な理解
- 132 専門的な
- 133 もう少し専門知識に関する理解を深める
- 134 司会進行の方法
- 135 他職種の方がどのような情報を求めているのかあまりわかっていなかった。
- 136 専門分野以外の学習
- 137 他職種の役割をさらに理解できるような学習
- 138 スムーズな司会進行と内容の事前把握が必要である。
- 139 同じ意見でも発現すること
- 140 相手の職域について知る。
- 141 議論を深めることで、会議を充実させ、かつ適切な時間配分を行うこと。
- 142 積極的な発言
- 143 病態についての理解を深める
- 144 それぞれの患者に対応した支援や治療の内容について。
- 145 カルテを読み解く力。患者さんそれぞれに対して病状に臨機応変に対応できる力。
- 146 全員が些細なことでも発言しやすいような環境づくりが必要だと思った。
- 147 医学的知識の向上
- 148 自分の職種以外の役割の理解
- 149 看護学の基本を学ぶ
- 150 他の専門性について学んでいる方からの質問で答えられなかった部分や、PBL中に自分で疑問に思った点を書籍やネットなどから情報を集めていく学習。
- 151 この治療やケアにはどの職種が関わるか、日々考えたり、他職種の方と話したりする
- 152 疾患の基本的情報は理解し、どの観点からどんな介入ができるのかを調べることが必要。
- 153 疾患の治療法と関係する薬物の情報をより把握すべきであった。
- 154 自信の持てる知識を身につけ、発言できやすいようにする。
- 155 話し合い
- 156 専門的な知識の学習
- 157 自己主張
- 158 他職種間のコミュニケーションをよりいっそう大事にしていきたい
- 159 教科書に書いてあることだけを覚えるのではなく、なぜそれがそうなっているのかまで調べる。
- 160 自身の職種のできることを再度見直したい
- 161 薬や疾患だけではなく、患者さんに対してどのような職業が関わっているのかを考えていくことが必要だと考えた。
- 162 経験したことがないグループワークなので、経験重ねて上手になりたいと思う。
- 163 積極的に他職種を理解しようとする
- 164 グループワークに積極的に参加し、自分から発言できるように練習する
- 165 チーム医療を果たす上で最低限理解が必要なものを知る
- 166 他分野にまたがる事前学習
- 167 間違っても良いので発言するよう心がける
- 168 歯科だけでなくほかの病気との関連を学ぶ必要がある。
- 169 シンプルにもっと勉強
- 170 専門的な知識を増やす
- 171 より深い専門性への理解と多職種の理解度の把握が必要で感じた。

- 172 専門知識をより深めること
- 173 自分の専門分野とそれに付随する分野についても学習すればもっと良くなると思う
- 174 発表の際には事前に話したい内容をまとめておく。
- 175 他職種の方にもきちんと説明できるように、その食事療法を行う目的や必要性について学習する。
- 176 多職種の業務内容の把握、薬剤師にしか気づけない情報収集能力
- 177 臨床検査技師について、どんな仕事なのか、どんなことをしているのか、臨床現場では管理栄養士とどのように関わっているのか知る。
- 178 もっと多職種について理解する必要があると感じました。
- 179 患者の心理ケアについて、特に看護師が行っていることについて
- 180 他の職種についてももっと知識を深め自分の職種の特徴を知る
- 181 普段の講義でもグループワークがあるので積極的に発言できるよう努力していきたい。
- 182 疾患に対して複数の治療方法を考えながら学習する。
- 183 身近にいない職種についても関心を持ち、日ごろから情報収集していくことが大切だと感じた。
- 184 時間配分をもっと少し考える。
- 185 他職種の業務内容のより深い理解
- 186 色々な人と話す機会を持つこと。
- 187 自身の職種に関係なく幅広い視点から患者さんに対して最適な治療を提案する
- 188 自身の職種内外問わず、様々な知識や意見をもつ
疾患一つに対しても、各職種ごとの関わり方がどのようなものであるかを浅くてもよいので知っておく。
- 189 Ex:逆流性食道炎に関しても、管理栄養士は経口摂取の可否を考えるが、薬剤師は経口での投薬を考えるため、認識のずれが生まれる。
- 190 みんな緊張していたと思うので誰かに頼るのではなく積極的に発言できるようになりたい
- 191 発言しようとする事
- 192 広く薬について学ぶ
- 193 自職種の理解(疾患事等)、グループワークの進め方
- 194 チーム医療についてももう少し知っておく
- 195 レントゲン写真などの見方の学習
- 196 特になし
- 197 もっと網羅的に医療を考えるべきだとおもった。
- 198 プロブレムマッピングや他の班の発表から自分なりに考える
- 199 授業で習った内容をきちんと理解して実践につなげられるようにすることが大切だと思いました。
- 200 より画像の所見についてより勉強する。
- 201 入院から退院に至るまでの看護師の役割の理解
- 202 他領域についても理解を深める
- 203 勉強して知識不足を補う
- 204 自分の職業に関する問題点だけでなく、患者中心に問題点を考えて、さらに多くの職種の方の業務まで知っていく必要がある。
- 205 病院内だけでなく、院外で発生する問題への理解
- 206 ディスカッションする機会を大切にしていきたい。
- 207 他職種への理解や治療やケアについて詳しく知る
- 208 もっといろいろな職種があることを学ぶ
- 209 研究室やこのような授業での発言機会を増やすこと
- 210 退院後のリスクや、それを予防するための生活について、勉強する
- 211 自分の専門分野に関しては知識を深め、専門外の分野に関しては積極的に意見する必要があると感じた。
疾病や治療に対しての基本的な知識の充足と、他学科の役割について理解を深め、自職種ならではの考えや理解を発言しながらチーム医療で貢献して
- 212
- 213 事前知識だったり、意見に質問することが必要だと思った
- 214 医療に関わる色々な職種について詳しく勉強する
- 215 治療にどれほどの金額がかかるのか知ること
- 216 周りがどのような情報を欲しているのかを考え、必要になりそうな情報を伝える
- 217 知識を身につけること
- 218 最終的に修正はできなくてもとりあえず情報共有はしておく。
- 219 他職種についての具体的かつ細かい知識を身につける
- 220 社交の場の溶け込み方を学ぶためにより多くの人と話す機会を積極的に増やす
- 221 分からなかったことを調べる
- 222 まずは自分の意見を相手に伝える。
- 223 疾病の理解
- 224 会話術
- 225 今後、臨床実習を回りながら、それぞれの職種がどこまで担当するのかを確認する
- 226 より専門性の高い知識を学習すること
- 227 司会に任せきりにせずに、積極的に発言や提案をおこなう
- 228 他職種が、どのような知識、技能を持っているのかを知ること
- 229 今回の学習を通して、看護師に何が求められているかより理解できたため、活かしたい
- 230 職種について理解していきたい
- 231 問題を解決するための段取りを先に考えてから取り組むこと。

9.良かった点

- 1 なにも話さない時間がなかった
- 2 他学部と意見交流ができ、自分にはなかった視点に気付くことがあった。
- 3 それぞれの専門分野の知識を共有し合った点
- 4 皆で協力できた。
- 5 多職種と連携して考えることで、自分には思いつかなかった点をそれぞれ多く出し合うことができて勉強になった。
- 6 オンライン上で共有して作業できた点
- 7 歯に関する情報が想像以上にほかの人に伝わらないことが分かった。
- 8 同じ患者情報を与えられていても、重点的にみている点や見方が学科ごとに違うことを知れてよかった
- 9 さまざまな学部の人と話す機会ができてよかった
- 10 薬物について情報を共有できた
- 11 全体的に積極的に発言し、問題点について話し合えた。
- 12 基本めんどくさいので、全て悪かった
- 13 多職種の仕事内容がわかった
- 14 職種関係なく協力して話しあいがあった
- 15 みんなが専門的な知識を持った上で発表できていた。
- 16 全員で話し合いをスムーズに進めることができた。
- 17 他学部との連携により医療をより患者にとって良いものにするための視野を広げられたこと。
色々な職種について幅広く知る良いきっかけになりました。チーム医療とはこのようなものなのだと、体験することができ、将来のイメージができる良い機会となりました。
- 18 班員が満遍なく意見交換できた。
- 20 パソコンで画面を共有してできたので、過程を全員が理解できていたと思う。
- 21 様々な学科
- 22 他者の意見を聞いて、他職種と結び付けられた。
- 23 様々な専攻の方と議論することができた点
- 24 少人数だったため話しやすかった。
- 25 事前に共有スライドに情報を記載することで当日の作業時間を短くできたこと。
- 26 いろいろな学部と話すことができてよかった
- 27 班員全員が意見をだした
- 28 自分が調べたことを分かりやすく他の人に伝えられた点。
- 29 発表を具体的にきちんと出来たこと。
- 30 他の学科の方と交流できたこと。
- 31 様々な職種の方と関わった
他の専攻科の方々と協力して1つの物事を考える経験が今まで1年生の時くらいしかなかったため、今回知識が増えた状態で話し合うことができていい体験になった。
- 32 ができていい体験になった。
- 33 色々な立場での考えが聞けた
- 34 他職種の人がどのように患者さんに関わっていくのか知ることができた
- 35 作業ごとに細かく時間指定があったので、どの作業も満遍なく行うことができた点。
- 36 スムーズに司会の人が進めてくれた
- 37 意見をまとまれた
- 38 班員全員で協力してチュートリアルを進められたこと
- 39 比較的活発に議論できていたと思う。
- 40 全員が積極的にディスカッションに参加していた。
- 41 他職種の視点を知れたこと
- 42 他の専門領域の考え方が聞けたこと
- 43 簡潔にそれぞれの作業を行うことで早く作業が進んだ。
- 44 グループ全員で議論が行えた点
- 45 チーム医療の模擬体験のようなものができ、医療人である自覚が強まった。
- 46 さまざまな視点から病気に対してアプローチができて話が広がって楽しかった。
- 47 事前学習のおかげで、スムーズに進んだと思う。オンライン開催のため、画面を共有しながら作業が進められるため、見やすかった。
- 48 他職種と学ぶことでチーム医療への理解が深まった
- 49 積極にそれぞれが意見を出して新しい学びが多かった
- 50 話し合いができた
- 51 様々な学部の方の意見が聞いて勉強になりました。また、自分の今後の課題が見つけられました。
- 52 看護の視点について提案できたこと
- 53 さまざまな職種の方に質問できたこと
- 54 色々な学部の人たちと意見を出し合い、大変勉強になった。
- 55 他職種の専門性について知ることができた点
- 56 他職種の意見を聞くことができた。
- 57 多職種で考えている、議論するという模擬チーム医療を体験できたこと
- 58 皆でたくさん意見を出し話し合うことができた。
- 59 発表で他のグループの考えや、自分のグループにはいなかった職種の具体的な支援方法などが理解できた

- 60 他の学科の人の意見が聞けて、専門性の重要さを感じた。
- 61 グループでマッピングを作成し意見交換を行えた点
- 62 みんな積極的に意見した点
- 63 様々な視点の考えを共有できたこと
- 64 司会ができた
- 65 楽しかった
- 66 様々な分野に対する知識が身についた
- 67 全員でパワポを編集できること
- 68 司会者がとても良かった
- 69 リーダーの統括がうまくできていてスムーズに会話が進んだこと。
- 70 他職種になる方と交流し、チーム医療というこれから大切になる考えについて磨くことができた。
- 71 知らない人同士でも意外と協力でき
- 72 自分の知らない知識を知り、多職種との違い・連携の大切さを学べた。
- 73 班員全員が議論に参加していた点。
- 74 他の職種に関わることは普段少ないため、様々な意見が聞けた
- 75 色々な視点があることを知ることができた。
- 76 1人の患者さんに対する全体的なアプローチについて学べた点
- 77 いろんな学部の人とお話しできていろんな専門的な説明をわかるまで分かりやすく説明してもらえた
- 78 普段関わることのない他学部の人と議論ができて様々な発見があったこと
- 79 医歯薬がそろっていることで、さまざまな議論点挙げられたこと
- 80 チューターさんがいたところ
- 81 他職種を目指す者どうして協力し合う経験ができて勉強になった。
- 82 同世代の他科の人と現時点で話す機会があって良かった
- 83 チーム医療にあたって、今まで知らなかった学部ごとの強みを知ることができた
- 84 皆で積極的に意見を出せた
- 85 様々な学科で集まることで自分では気づけなかった視点やまとめ方に触れることができてよかった
- 86 いろんな学科のヒトの考えを知れたこと。
- 87 他職種の意見を聞くことができた。
- 88 みんな積極的な発言をした
- 89 他グループの発表を聞くことで、自分たちの班では気づけなかったことにも気づくことができた。
- 90 他学科でどんなことを学んでいるのか分かった。
- 91 他学科と交流ができた
- 92 他学科と関わった店
- 93 他の職種の人の意見を聞くことができてよかった。
- 94 他職種の人と関わりをよく理解できた点
- 95 同時にパワポに書き込めて共有しやすい
- 96 様々な職種の専門的な知識を共有しながら患者さんの治療について考えられたこと。
- 97 他の専攻の人と話す機会がなかったのでお互いにどのようなことが得意かが改めて理解できた。
- 98 チーム医療について少し触れることができた
- 99 普段かかわりのない学科の人とこのような機会ですれ違えることができ、チーム医療を身近に感じることもできた
- 100 特に薬学部では他の専攻の人と話す機会が少ないので、このような機会があることは非常にありがたい。
- 101 他の職種の方の意見を伺うことができ貴重な体験となりました。
- 102 自身の知識の中でグループワークができた
- 103 最初マッピングの方法がわからない方が多かったので意見を促進させるように働きかけた点
- 104 多学部で行ったことで専門的な理解が深まった
- 105 職種によって着眼点が異なっていたため、新たな視点からの発見があった
- 106 コミュニケーションをとれた
- 107 他職種の考え方を勉強することができた
- 108 それぞれの専攻で強い部分を知れた。
- 109 分からない時にメンバーが手助けしてくれた
- 110 他職種の方とじっくり話す機会は少ないのでよかった。
- 111 しっかりとコミュニケーションがとれた
- 112 他学部の意見を聞き、様々な考え方を知れたこと
- 113 自分の専門外の分野について具体的な治療や病気との関連について学習できた。
- 114 パワーポイントを共有してみんなが協力して作業できたこと
- 115 他の学部の方がどのような知識を持っているのか雰囲気を知ることができた。
- 116 各学部の視点から話を聞いて議論できること。
- 117 看護学科のかたがしっかりしていて、看護の視点からたくさん意見を下さって勉強になった
- 118 様々な視点から考えることで今までの症例検討では気付かなかった点について考えることができた
- 119 それぞれの専門性を生かしてしっかりと話し合いできた
- 120 他学科の方の意見が聞けたこと。
- 121 多学科の専門的な意見を聞くことができた。

- 122 他職種の人の観点から意見が聞けて、他職種が患者さんに対してどのように関わっているのかがよく分かった。
- 123 班に様々な職種がいた点
- 124 普段の大学生活でかかわりの薄かった学部の方と交流できた点
- 125 他の専攻の方の意見や質問から、今まで考えていなかったポイントを認識できるようになったのはよかったです。
- 126 他学部の方の知識や意見を知れて勉強になったことと、疾患に実際どう対処するか考える機会が得れて、良かった
- 127 他職種の人と話ができてさまざまな意見が聞くことができた
- 128 Zoomという方法で、比較的スムーズにできた
- 129 各専門の学生と1人の患者さんについて話し合えた点。
- 130 他職種の人の話を聞いたこと
- 131 教員のサポートが良かった
- 132 他学部の方がどんなことを知っているのか、どんなことを知らないのか分かったのが良かった。
- 133 現場のように、多職種と協働し議論できたこと
- 134 同時にパワポを編集しながら話し合えた点
- 135 今回はwebでの授業であったため対面より緊張せずに議論することができた。
- 136 初めて他職種とのグループワークを行い、それぞれの意見を聞けてとても勉強になった
- 137 発表などを少ないグループで行ったことで、スムーズに進行したこと
- 138 それぞれの分野の人がちゃんと意見を言っていた
- 139 自分の知識を他の学部の方と共有してどう活かしていくのか勉強になった
- 140 司会者のおかげではあるが、話し合いがスムーズに行えた
- 141 グループ全員で協力できた
- 142 多職種の意見から、いろいろな視点での患者さんに対するケアのアプローチを知ることができた。
- 143 歯学部からの観点で意見することができた
- 144 司会進行をしてくださった方がとても話しやすい雰囲気を作ってくれて、ディスカッションしやすかった。
- 145 普段関わることのない他職種と関わることができた点、チーム医療の重要性を理解できた点
- 146 他学部の学生と交流ができた点
- 147 色々な職種の勉強をしている人たちとたくさんお話をできて楽しかった。
- 148 話し合いが比較的スムーズに進んだこと
- 149 最終的に各職種からの考えについて理解できたこと
- 150 パワーポイントで共同作業ができた点
- 151 他の学部と様々な知識を共有できて、非常に勉強になった点。
- 152 パワーポイントが共有できるようになっていたのでワークがしやすかった。
- 153 医学科生のチュートリアルだけでは気づかない視点に気づけた。
- 154 歯学部などの視点は考えたことのない視点で良かった。薬学部の薬の知識量がすごい
- 155 他班の考えも知ることができた点。
- 156 他学部の方と発表・検討する場面は少ないので、いい経験となり大変勉強になった。
- 157 自分の専門分野に対してほかの職種の人の知識はどの程度か、どこまでは自分の領域でどの程度の勉強は必要かなどの目安が分かった点。
- 158 学生生活で、これだけ様々な医療系の職種の人と意見交換をしたり話し合いをする機会がなかったのでとても貴重な時間だった
- 159 他職種と話せた
- 160 自分の知らない観点からの意見を知ることができた点
- 161 多職種の理解、自職種の役割の再認識ができた
- 162 自分より優れた視点到に触れることができた
- 163 ブラウザのパワーポイントを用いて、メンバーが同時進行で作業ができること
- 164 多職種の具体的な話を聞くことができたこと
- 165 多学部からの視点
- 166 他職種の人がどのようなことをしているのかをイメージでき、1つの疾患に対して様々な視点から考えることができてよかったです。
- 167 他業種の意見を聞いたこと
- 168 さまざまな視点からひとりの患者について議論できたところ。
- 169 司会の方がスムーズに進行して下さった
- 170 自分なりに意見を言うことができた
- 171 3グループずつで発表だったので、発表しやすかった。TAさんもアドバイスをくださったので話し合いが円滑に進んだ。
- 172 複数の学科で集まるため、専門的な自分が知らないことも教えてもらうことができた点
- 173 他学部の方と話し合いをすることで自職種以外の職種の役割について理解できたこと。
- 174 他職種と話し合いができたこと
- 175 いろいろな職種を交えての話し合いは有意義で、プロブレママップを作成し、視覚化するとよく学べた。
- 176 他学部の意見を聞くことができる貴重な体験となった。
- 177 様々な学部の中で自分の立場を理解することが出来た
- 178 班のみんなが積極的で、色々な視点からの意見があり勉強になった
- 179 司会の方を中心に、自分を含め全員が発言できたこと
- 180 患者の訴える症状がカルテ記載のどの病状と関連があるのか、つなげることができた。
- 181 限られた時間で活発な議論ができたと思います。
- 182 実際に他の職種を学ぶ人と意見交換できたこと
- 183 色々な専門職種の意見を聞くことができ、参考になった

- 184 多職種でかつそれなりの学年の人との交流だったので専門的な会話もできた
- 185 多職種の分野の人の意見を聞いたこと
- 186 他職種の考え方を知れて良かった。
- 187 他学科と話す機会はあまりないので、いい経験になりました
- 188 他の学科の方がどのようなところに注目しているかという事がわかったこと
- 189 チーム医療への実感がわいた
- 190 普段の学習では思いつかない新たな視点での意見について考えることができた
- 191 他の科の方が、自分にはさっぱりだったところを当たり前のように解説してくださって、すごいと思ったし、任せられると感じた。
- 192 職種としての意見も聞けたし、その人自身の考えも聞けてよかった
- 193 色々な職業の観点から患者への携わり方を学べた点

10.改善してほしい点や具体的な提案

- 1 送られてきた書類が文字化けしたり、動画が見ることが出来なかったので、教務システム内の授業支援などで文書を共有してほしい
- 2 対面だと、普段の講義でどんなことを学んでいるのか、もう少しお互いを知ることができたと思う。
- 3 対面でしたい
- 4 対面で出来たらより話し合いが活発になる。
- 5 対面の方がディスカッションをしやすかったです。
- 6 看護の成績には関係あるんですか？事前説明がほとんどないまま実施されたので大学側のエゴに付き合わされているのかという気分になった。もっと学生が意欲的に参加できるような下準備が必要だと思います。
- 7 オンラインでの話し合いで話しにくかった
- 8 対面の方がしやすいので、
- 9 医学科が司会すべきだと思う
- 10 栄養の情報がもう少し欲しい。
- 11 もう少し時間が欲しかった
- 12 まとめる時間がもう少しほしかった
- 13 オンラインよりも対面の方が話し合いはしやすいと思うので、情勢にもよるとは思うが対面で行う。
- 14 対面の方がやりやすかった
- 15 cbt前の時期に行うのをやめてほしい
- 16 人数の都合上難しいが、できるだけ色々な学科/専攻の人で班を作ってほしい。
- 17 オンラインで行われたところ
- 18 コロナの感染状況などを加味すると仕方がないが対面の方がよかったと思う。
- 19 食事内容をもう少し情報がほしかったです。
- 20 パソコン上だとしにくい。
- 21 初対面なこともあって、遠隔上では非常にグループワークがやりにくい
- 22 パワーポイントの作業が少しやりやすかった
- 23 使いやすいパワポがほしい
- 24 ZOOMでは話し合いが十分にしにくいので、できれば対面がよかったと思いました。初対面のZOOMはやりづらかったです。
- 25 MSWの意見も欲しい、患者情報が少ないため議論が進まない点があった
- 26 どのようなことをプレゼンに望んでいるのか具体的に示してほしい。
- 27 zoomでのグループワークは難しいのでできれば対面が良い
- 28 パワポをみんなで作業すると動作がすごく遅れる点
- 29 全学科の人を1チームに入れてほしい
- 30 話さない人も一部いたので、名指しで当てていく
- 31 このゴールやなにをすればいいかがわかりにくかったです。
- 32 歯学科がない環境で歯学の専門単語があったことは改善してほしいと思った。
- 33 ZoomでのGDはやはり難しかったため、できるだけ対面で実施してほしい。
- 34 もう少し早く課題を出してほしい
- 35 あまりにも実習内容の指示が煩雑で何をしたら良いのか誰もわからない状況かつオンラインのため議論が進みにくかった。学科間の連携を目的とする実習としての機能は果たしていないと思います。
- 36 対面でやったほうが緊張せずにできたと思う。
- 37 集まるセッションルームを別で用意して欲しいです。
- 38 対面の方が良いと考えます
- 39 CBT前に時間を拘束するのはやめてほしい。
- 40 マッピング作業で具体的にどのように作成していくかの例（過年度の作成済みのマッピング）のようなものを最初に見ていけば具体的にどのように作業を進めていけばいいかわかると思いました
- 41 職種が被らないとさらに良い
- 42 もう少し時間にゆとりがあればより良いまとめ方ができたと思った。
- 43 対面の方がもっと積極的に行えたのかなと思った。また、進行の仕方や、やらなければならないことがいまいよくわからなかった。
- 44 ウェブでのディスカッションはお互いの顔が見えづらいこともあって進みにくかった。
- 45 医学科の方が率先して進める方が円滑に進むのではないかな？
- 46 対面でおこなってほしいところ
- 47 対面で行ってみたい

- 48 もう少し早めにグループワークの情報が欲しかった。
- 49 薬学、歯学の子がいなかったので、話を聞きたかった
- 50 もう少し運転の有無などの生活環境についての情報が欲しいです。
- 51 共有スライドでの作業はなかなか難しく、もう少し全体で話す時間が欲しかった
- 52 マッピング作業がやりにくかったので、線と枠のテンプレートを入れておくと良いと思います
- 53 オンラインでのディスカッションはやめてほしい。
- 54 アイスブレイクが遅い
- 55 初対面でwebだと少し話づらい。
- 56 オンラインだと発言のタイミングが難しいため、対面の方が良い
- 57 時間をもっと取って頂きたかったです。
- 58 もっと時間が欲しいのと、できれば対面で行うほうが情報交換がスムーズにできると思った。
- 59 やることが分かりづらいのと、バワボが重すぎて落ちてしまう
それぞれの専門について基本的知識が頭に入っていない方もいて、事前学習の重要性についてももう少し全員が把握しておくともスムーズに
- 60 議論が進むと思う。
- 61 ズームではやりにくいので、対面の方がいいと思う
- 62 専攻ごとの学生数に偏りがあるので仕方ないですが、なるべく多くの専攻の方と班を組めたらより良い意見が出やすいと思います。
- 63 プロブレムマッピングのやり方が明確にわからず、困ったので、具体的な例をいただけたらすごく助かりました
対面で行うべき。職種間の連携は人を相手にすることなので、非言語のコミュニケーションも重要である。対面で付箋などを用いてマッ
- 64 ピングを行う方がより実践的で意義のあるものになるはずである。
- 65 可能な限り対面でお願ひしたい
- 66 もう少し時間を長くしてほしい。
- 67 ズームの仕組みが難しかった
- 68 事前説明が分かりにくい。
- 69 1年時、4年時だけではなく、全学部が合同で話し合う機会をもっと多く作って欲しい
- 70 様々な役割分担時にあまり発言しない人はほとんど役割を担っていない点。あらかじめ役割を振っておいてもらっても良いと思った。
- 71 パワーポイントの作成に時間がかかり、zoomでの作業はしにくかった
- 72 グループにいない職種の人へ意見を聞く機会が欲しかった
- 73 やるのであればもう少し時間をかけてじっくりと検討したい
- 74 栄養学部の人がいなかったのでもっと話し合いが深まったと思う。
- 75 チーム医療は、医師が中心であることから、司会・進行を医師が行う方がスムーズであると感じた。
- 76 対面にして欲しい。やりづらくて仕方なかった
- 77 自分のグループに薬学科と歯学科がいなかったので、その分野の情報が得られなかった点
- 78 今回、一緒にディスカッションした仲間と繋がれるような仕組みがあったら面白いと思います。
- 79 コロナ禍で難しいとは思いますが、対面の方が議論が弾みそうだと感じました。
- 80 討論の時間が足りずまとめるのがすこし大変だった。
- 81 症例について日常生活に関する情報をもう少し増やして欲しい。
- 82 私の班には歯学部の方がいなかったので、人数が多くなるとは思いますグループにすべての学部の人が一人居るようにして欲しかった。
- 83 自身の班には歯学部生がいなかったので、いてほしかった
- 84 Zoom上なので、最初に司会や発表者を決めるまで仕切ってくれる人がいないともスムーズに話が進まないのではないかと考えた。
カルテなどの資料を見ながらzoomの作業をし、並行してPowerPointの作成を行うとPCの負担が大きく正常に作動しないことが多かった
- 85 た。もともとバワボにカルテなどをまとめておいてもらえると、見るアプリが減るのでPCへの影響が減るのではないかと考えた。
Zoomでの話し合いはなかなか緊張がほぐれない感じがした。共有のパワーポイントもリアルタイムでは動きがスムーズではないため不便
- 86 さを感じた。
- 87 やることをもっとわかりやすく、発表する内容もわかりやすく
- 88 リーダーや発表者、質問者は事前にランダムで決めてもいいのかなと思いました
- 89 マッピング作業をどのようにすれば効率的かを、グループワークを始める前にでも教えていただきたかった。
- 90 食事内容や摂食量の記載を増やして欲しい
- 91 zoomだとやりづらく感じた
- 92 検査技師としてできることが遺伝子検査から分子標的薬の提案しかできなかったこと
- 93 まとめの時間&発表時間が短い
- 94 まとめる時間が短いです
- 95 臨床心理士さんやソーシャルワーカーを目指す常三島の学生とも取り組みたい。
全く発言しない人や書き込みに参加しない人がいて、司会を担当した人が大変そうだった。ひとり一つ役割を担うように、司会・発
- 96 表・質問以外に役割を作ってほしかった。
- 97 チューターの先生がブレイクアウトルームでアドバイスをくださった時にかなり音声聞き取りにくかったので改善していただきたいです
- 98 できるだけ班員の職種がかぶっていないといいと思った。
- 99 何を発表するのか明確にしてほしい
- 100 時間が短いと感じた。
- 101 グループ討議の時間を増やしてほしい。
- 102 もう少し時間が欲しかった
- 103 患者の希望などの情報がもう少し欲しかった
- 104 プログラムマッピングを作成する時間が短かった。

- 105 ほんの少し時間が短く感じたのでプロブレムをさきにマップに書く、職種の枠を先に書いておく等があるとよいかと思いました
- 106 話し合いの進行が最初どうすればいいか分からなかった。またオンラインだったので、分からないことがあっても少し質問しにくかった。
- 107 Zoomだと話し合いがしづらく感じた。
- 108 やはりリモートだと少し話しにくいと感じました
- 109 対面の方がよい
- 110 討論時間、まとめる時間、発表時間、質問時間が短い
- 111 zoomだと話が被ったりしてやりずらかった